

海上保安友の会青森支部だより

平成19年1月1日(第19号)



海上保安友の会青森支部会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

友の会青森支部会長の菊田でございます。

海上保安友の会は、海を愛する方々が集い、海上保安庁の仕事について理解を深めるとともに、海上保安官との交流、会員相互の親睦を図る目的で設立されたもので、当青森支部も平成13年12月に全国32番目の支部として発足以来、第一線で日夜業務に励んでいる海上保安官との交流や青森・八戸海上保安部が主催する各種行事に参加するとともに、会員相互の親睦を図ってまいりました。

本年は会員の皆様方と巡視船の体験航海等と一緒に楽しみ親睦を図るとともに、友の会の輪を拡げていき青森支部の育成と発展に努めてまいりたいと思いますので、皆様方のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

年頭にあたりまして、会員皆様方の益々のご健勝とご発展を心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

トピック・各種行事等

青 森

1 カーフェリーとの事故対策訓練



負傷者捜索応急手当訓練



ヘリと機動救難士による船上げ訓練

10月13日、青森港内に着岸中のカーフェリー「えさん」において、青森海上保安部の巡視船艇等4隻、函館航空基地所属のヘリコプター、関係者に加えて職場体験の中学生6名が参加して、情報伝達、負傷者の捜索応急手当等のカーフェリー等旅客船事故対策訓練を行いました。

2 図画コンクール表彰式



11月11日、青森海上保安部は青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸展示室において、図画コンクールの授賞式を行いました。授賞式の後に、受賞者及び家族は巡視艇「さわかぜ」による陸奥湾の体験航海を楽しみました。

3 年末年始の安全総点検



12月10日、青森海上保安部は、青森港の巡視船「おいらせ」の係留岸壁において、年末年始の安全総点検として年末年始特別警戒出動式を行いました。その後、青森運輸支局と合同で旅客船の安全点検を行ったほか、航路標識の安全点検も行いました。

八戸

1 テロ訓練



10月26日、八戸海上保安部は、八戸港管理所や八戸警察署など官民34の関係機関と連携し、八戸港における保安の向上と危機管理体制の強化を図ることを目的とした各種テロ対策訓練を行いました。

2 洋上救急



10月12日、八戸海上保安部は、8月21日の午後、宮城県金華山灯台の東方約2、400キロの海上で発生した鯖延縄漁船の負傷者に対して、遠距離の洋上往診による献身的な医療活動を行った 八戸赤十字病院の医師に対して第二管区海上保安本部長表彰を伝達しました。

3 灯台記念日



八戸海上保安部は、灯台記念日にあたる11月1日、永年にわたり航行援助業務に協力した方に対する海上保安庁長官感謝状を伝達するとともに、社団法人燈光会が主催した「灯台絵画コンテスト2006」で、銀賞及び銅賞に入選した八戸市内の中学生3名に対しての表彰状の伝達を行いました。

お手柄！ 八戸海上保安部

八戸海上保安部は、あわびの採捕禁止期間中の平成18年8月12日、三戸郡階上町大蛇漁港前面海域であわび及びなまこを不法に採捕していた、階上漁協大蛇部会長ほか5名を、青森県海面漁業調整規則違反等容疑で逮捕しました。この事件は、漁協役員や密漁監視員らが自ら密漁していたことで社会の反響が大きく、テレビや新聞で大々的に報道されました。

また、同年10月12日には、青森県下北郡東通村小田野沢漁港沖合に於いてあわびの採捕禁止期間中であるにもかかわらず、あわび427個（43.5キログラム）を不法に採捕していた密漁常習の親子2名を、青森県海面漁業調整規則違反等容疑で現行犯逮捕しました。さらに余罪を追及したところこの2名は、平成17年1月から犯行を繰り返しており、密漁したあわびは約4.7トン、被害総額は3,000万円を有に超えていたことが判明しました。

小田野沢漁港沖で不法に採捕されたあわび



密漁に使用された漁船



「編集後記」

12月上旬に降ったドカ雪に、今年も豪雪かと心配しましたが、今のところ正月も穏やかに過ぎ、例年よりかなり少ない降雪量にほっとしているのは私だけではないと思います。

予報によると、今年の冬は暖冬とのことですが、去年の事もありますので、雪対策には気を緩めないで過ごしたいものです。

—会員の皆様の投稿(写真可)をおまちしております—

「事務局」〒030-0811 青森市青柳一丁目1-2

海上保安友の会青森支部(青森海上保安部内)

TEL 017-734-2423